

1. 留学生と長岡技術科学大学

1. 留学生への支援

(1) グローバル教育センターと留学生支援係

グローバル教育センターでは留学生に日本語学習の機会の提供や、学内の交流などを企画しています。

グローバル教育センターウェブサイト: <https://www.nagaokaut.ac.jp/center/ciee/index.html>

留学生支援係では留学生の受け入れ、奨学金やビザの手続き、留学生の宿舍の選考など、留学生に関係するいろいろな仕事をしています。

留学生支援係

電話: 0258-47-9285, 0258-47-9286

E-mail: nutdia@jcom.nagaokaut.ac.jp

ウェブサイト: https://www.nagaokaut.ac.jp/gakusei/ryugaku_shien/ryugakusei/index.html



グローバル教育センター→
←留学生支援係



(2) チューター制度

新規の留学生が日常生活や学習で不便を感じないように、大学の先輩がチューターとして日本に来る前後の最長3か月間サポートします。

もしチューターと相性が悪いと感じたら、指導教員または留学生支援係に相談してください。

(3) 日本語・日本事情の学習

日本語の授業を受けたい人は、毎年、学期のはじめ(1学期は4月で2学期は9月)にガイダンスとプレースメントテストを行っていますので、必ず参加してください。テストの日程は、留学生・日本語コースガイダンスの時またはメールで案内します。

1. 正規の日本語・日本事情 (単位認定あり)

「日本語(中級/上級)」と「日本事情」は単位認定されている正規の授業科目で、1年を通して行っています。必ずプレースメントテストを受け、履修申告を行い、受講してください。

2. 初級者向けの日本語 (単位認定なし)

日本語を初めて勉強する留学生のために「日本語研修コース」と「日本語基礎コース」があります。どちらも、日本で生活するのに必要な日本語を勉強できます。

履修したい人は、担当のグローバル教育センター日本語教員に問い合わせ、初回のクラスに必ず出席してください。受講者が定員に満たない時は、留学生の家族も14,800円で受講できます。

*日本語研修コース・日本語基礎コース・漢字クラスでは、単位の認定を行っていません。

◆ 日本語研修コース (Intensive Course)

大学院入学を目的とする研究生と、非正規生を対象とする短期集中日本語プログラムです。初級のIntensive 1と、初中級のIntensive 2があります。

4月と10月に開始。週に5日(1週間に15コマ: 90分×15回) 16~17週間の授業。

担当: 永野 建二郎先生 (knaga@vos.nagaokaut.ac.jp, 内線9808)

◆ 日本語基礎コース (Basic Japanese Course)

レベルに応じてBasic 1とBasic 2があります。Basic 2を修了すると、Intensive 1受講者と同等レベルになります。4月と9月に開始。週に4日(一週間に4コマ: 90分×4回)、1学期間の授業。

担当: 片野 洋平先生 (y_katano@vos.nagaokaut.ac.jp, 内線9846)

◆ 漢字クラス(初級・中級)

前述の日本語コースと同時に受講することができます。

4月と10月に開始(中級後期は9月開始)。週に2日(2コマ: 90分×2回)、約18週間の授業。

履修したい人は、学期始めのガイダンスに出席してください。

担当: 片野 洋平先生 (y_katano@vos.nagaokaut.ac.jp, 内線9846)

◇ 学外での日本語学習

長岡市も、外国人の日本語学習を支援しています。市民センターでは、レベルやニーズに応じた授業や日本語活動に参加することができます。詳しくは、長岡市国際交流センター「地球広場」(このページ最終行参照)にお問い合わせください。

(4) むつみ会

体育・保健センターの学生相談以外にも、むつみ会による生活相談が行われています。むつみ会とは、本学の留学生を支援する目的でつくられた民間ボランティア団体です。昭和63(1988)年に、留学生63名をサポートするために発足しました。

主な活動として、毎週水曜13:30~16:30(冬期の12月~2月は13:00~16:00)に国際交流ラウンジで生活相談を行うほか、スピーチコンテスト、生活用品のバザー、バス旅行など、留学生のための各種行事が年間を通して企画されています。参加を希望する人は、水曜の午後に国際交流ラウンジに気軽に立ち寄って直接スタッフの方に問い合わせてください。

◆ 国際交流ラウンジ

国際交流ラウンジは、留学生と日本人学生の自習や談話、交流の場として使えるスペースです。
場所：物質・材料経営情報棟2F

利用時間	月曜日から金曜日の9:00~20:00
休室日	・土曜日及び日曜日 ・祝祭日(振替休日を含む) ・年未年始(12月29日~1月3日) なお、臨時に利用時間及び休室日を変更することがあります。

(5) 地域との交流

地域の小中学校などで、留学生との交流事業が計画されています。いろいろな人と知り合いになるチャンスですので、ぜひ積極的に参加してください。

事業への参加者募集の依頼があれば、その都度メールやHPでお知らせします。

◇ 長岡市国際交流センター「地球広場」

また、長岡市の国際交流センター「地球広場」では、長岡市に住む外国人と市民との交流のためのイベントを開催するとともに、各種の情報提供、外国語による生活相談等を実施しています。日本語学習のプログラムも設けています。

TEL:0258-39-2714 <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate13/chikyuhiroba/>



2. 留学生の区分

長岡技術科学大学の留学生の区分には、次のものがあります。

(1) 正規生

◆ 学部生 (B)

第1学年に入学した者は標準修業年限4年、第3学年に入学した者は標準修業年限2年です。共通教育と専門教育の教育課程の所定の単位を修得して卒業すれば、「学士」の学位が与えられます。

◆ 大学院生 (修士課程:M、博士後期課程:D、5年一貫制博士課程:GD)

大学院工学研究科は、標準修業年限2年の修士課程と標準修業年限3年の博士後期課程、標準修業年限5年の5年一貫制博士課程からなっています。修士課程修了者には「修士」の学位が、博士後期課程および5年一貫制博士課程修了者には「博士」の学位が授与されます。

◇ 各種用語・制度

留年: 標準修業年限を超えて就学する場合は「留年」となります。

休学: 病気やその他の事情で長期間大学を休むこと。その間は帰国することが条件です。

復学: 休学した人が、大学に戻ること。

退学: 大学を途中でやめること。

除籍: 入学料・授業料の未納などにより、大学での学籍がなくなること。

通学停止: インフルエンザや麻疹などの感染症にかかった場合、感染拡大を防止のため、一定期間大学に来てはいけません。届け出があればその間も出席とみなされます。

(2) 非正規生

◆ 学術交流協定に基づく特別聴講学生

本学と学術交流協定を締結している大学または機関に在籍する学部生および大学院生は、特別聴講学生として本学での研究や授業を通じ、単位を取得することができます。

なお、受講する科目に変更・追加がある特別聴講学生は、留学生支援係で手続きをしてください。許可を受けていない科目の受講はできません。許可を受けていない科目の成績証明書は発行されませんので注意してください。

◆ 特別研究学生

本学と学術交流協定を締結している大学または機関に在籍する大学院生は、特別研究学生として本学で研究を行うことができます。特別研究生としての期間を終了しても、単位は与えられません。

◆ 研究生

学士課程を修了し、ある特定の専門分野について研究したい場合は、大学の許可を得て、研究生として入学することができます。研究生としての期間を終了しても、学位および単位は与えられません。